

JA全農えひめ情報

みくろへど

12

2022・December





▲自然豊かな大地ですくすくと育つ若松



▲松を使った生け花でお正月に華やぎを



▲毎年馴染みのパートが多く、仕分け作業も手際よく進む



▲「愛媛の松」で名が通っているんですよと穏やかな口調で話す神岡組合長

若松の収穫

(喜多郡内子町)

若松はお正月の門松や生け花に欠かせない松の若木です。内子町小田地区では、5軒の生産者が「えひめ小田若松生産組合」を設立し、若松の栽培に取り組んでいます。標高300m前後の冷涼な気候で育つ「小田若松」は、北海道から鹿児島まで70市場に及ぶ出荷先関係者から「葉が締まり、品質が良い」と高い評価を得、全国にその名を知られる名産品です。

秋晴れの空の下、緩やかな山の斜面にある組合長の神岡乃さんの畑では若松の収穫に追われています。12月中旬までの1ヶ月余りはパート25人と葉落し内職20人ほど雇い、伐採、下葉の整理、仕分け、梱包など手分けした作業が続き、師走の風物詩となっています。「若松は種をまいて1年、苗床で育ち、植え替えて3年と、除草や防除、生育期ことの気がかかる要素を乗り越えた4年目の松です。今年は大風14号で倒れ、起こすのが大変でした。心配した歪みもなくホツとしています」と神岡さん。長男だからと継ぎ、畑を広げ、土の状態・松の状況を読む力を培って45年。毎年生けた写真を送ってくれる華道家、いい松だと喜んでくれる消費者、そんな人々とのつながりが栽培の原動力になっています。

若松は地域や使用方法により芯や小枝など好みや飾り方が様々で、捨てる場所がありません。寒い冬も枯れず年中緑の葉をつけることから長寿や繁栄の象徴でもあります。新年に松を飾るのは年神様を「待つ」、「祀る」にも通じる伝統文化に根ざしています。来る新年は松を飾って良い年を願ってはいかがでしょう。

めぐり〜ど

2022年12月号

CONTENTS

全農グループの経営理念

私たち全農グループは、
生産者と消費者を安心して結ぶ
懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

今月の表紙



ブロッコリーは茎とつぼみを食べる花野菜です。こんもりと中央が盛りあがったドーム型がかわいくて、明治初期に観賞用に渡ってきたのもうなずけます。緑濃く、みずみずしいのは、暗くて寒い夜明け前からカンテラを灯し、防寒具を着込んで収穫してくれたから。感謝の気持ちでおいしくいただきたい冬の緑黄色野菜です。

●表紙：ブロッコリー
はら ふみ（イラストレーター）

※「めぐり〜ど」は、「愛媛農業（Agriculture）」を「リード（Lead）する」という意味と「心一つにする（Agreed）」という意味を込めています。

農の風景Vol.231

若松の収穫

2 〈特集〉JA全農えひめ生活部・矢野貴之部長に聞く

県内産農畜産物の 消費拡大・愛用運動を柱に PB商品の拡充と JAタウン事業を展開！

6 THE・ねっとわーく

8 ふるさと ESSAY VOL.299

途上国支援から 島の保健室へ その2

野澤 美香さん

10 TOPIC NEWS

16 READERS通信

NOW NOW COOKING

〈今月の素材〉白菜

JA全農えひめ

ホームページ

<https://www.zennoh.or.jp/eh/>



- お取り寄せ・JA全農えひめ直販ショップ
<https://www.ja-town.com/shop/c/c7201/>
※愛媛の旬の農産物と加工品をお届けします！
- JA全農えひめ「えひめの食」企画
<https://www.zennoh.or.jp/eh/food/>
※「えひめの食」では、旬の農産物情報を発信しています。
- ◆株式会社 えひめ飲料
<http://www.ehime-inryo.co.jp>
- ◆株式会社 アイパックス
<http://ai-pax.jp/>
- ◆株式会社 フレッシュフーズ
<http://fresh-ranran.jp/>
- ◆株式会社 ひめライス
<http://www.himerice.jp/>
- ◆株式会社 エネルギー
<http://www.ja-ehimeene.co.jp>
- ◆株式会社 物流
<http://www.jat-ehime.co.jp/>

県内産農畜産物の 消費拡大・愛用運動を柱に PB商品の拡充と JAタウン事業を展開！

JA全農えひめ生活部は、県内産農畜産物の消費拡大・愛用運動（ジュース・お茶・畜産加工品・乳製品等）の積極的な展開に加え、ネット通販サイト「JAタウン」事業、県産品を活用したPB商品の開発・販売拡大を通じて、県産品のブランド力強化や認知度向上を目標に取り組んでいます。

今回は、生活部の矢野貴之部長に、県内産農畜産物消費拡大に向けたPB商品の開発・販売を中心に、今後の取り組みについてインタビューしました。

生活部のめざろ姿

編集部 まず、生活部の重点施策について教えてください。

矢野 JA全農えひめは、第38回JA愛媛県大会において、JAグループ愛媛のめざすべき姿として決議された「持続可能な農業の実現」「豊かであらしやすい地域共生社会の実現」「協同組合としての役割発揮」にもとづき、「持続可能な農業と食の提供のため、なくてはならない」



JA全農えひめ生活部・矢野貴之部長



PB商品 左：いも炊きのたれ 中央・右：カレー

はならない全農」であり続ける」という全農グループのめざす姿の実現に取り組んでいます。

私たち生活部としては、豊かで暮らしやすい地域共生社会の実現をめざし、組合員・農業者の所得増大に向け商品開発と販売力強化に努めています。具体的には、県内産農畜産物の消費拡大運動と愛用運動を大きな柱とし

て、県内産農畜産物を活用したPB商品の開発・販路拡大、ネット通販「JAタウン」の事業確立に向け、取り組んでいます。

**愛媛特産はだか麦を使った
新商品が来年春登場！**

編集部 PB商品が増えてきましたが、開発にあたってコンセプトはありますか？

矢野 県内産農畜産物の認知度向上・地産地消の促進・ブランド力強化を図り、地域農業の振興に寄与すると共に、消費者に安心・安全をお届けしようという取り組みです。

PB商品として、伊予牛「絹の味」、「ふれ愛・媛ポーク」を使ったカレーをはじめ、愛媛が全国生産量4位の里芋「伊予美人」の活用拡大に向けて、昨年から「いも炊きのたれ」を開発し、JA直売所等を中心に販売しています。

その他にも、愛媛には36年連続生産量日本一を誇る「はだか麦」という特産品がありますから、その消費拡大・認知度向上に向け、

商品開発に力を入れています。昨年に続いて今年も、「はだかんぼう麦茶」ペットボトル商品を販売し、2年続けてテレビCMを放映していますので、目にされた方も多いのではないのでしょうか。

今年度は、「愛媛のはだか麦ごはん」「はだか麦を使った味噌」を下期「県内産農畜産物消費拡大運動」推進品目として、積極的な利活用拡大を呼び掛けています。

そして、今回愛媛の独自商品ではありませんが、「ニッポンエール」の商標を付した商品として、「はだか麦のまろやか黒酢」を開発し、販売準備を進めています。

編集部 麦とお酢とは結び付きにくい組み合わせですが、着目した理由はありますか？

矢野 はだか麦を使った商品は、味噌・お菓子・焼酎等いろいろありますが、お酢がなかったところに目をつけました。黒酢にすることで本来のコクは残しつつ、米を使用していないので、独特な米の発酵臭もなく、料理に使用する際にも使いやすい調味酢に仕上げています。



愛媛県産はだか麦を使った商品

編集部 料理が苦手な方にも、気軽に使っただけの商品ですね。

矢野 砂糖・食塩等を合わせる必要がないので料理が苦手な方でも失敗しにくく手軽においしい酢料理を作ることができます。酢料理全般の味付けや、漬けるだけでピクルス等、いろいろな料理にお使いいただけるよう、今はレシピ提案などもしていきたいと思っています。

編集部 販売時期はいつ頃ですか？

矢野 来年3月の販売開始を予定しています。直営のファミリーマート・全農ふれっしゅ広場や県内のJA直売所、消費拡大運動をはじめ、JAタウンや県外での販売も検討しています。多くの方たちに手に取っていただき、はだか麦の消費拡大につなげたいと考えています。

全国のみなさんに 県内農畜産物をお届け

編集部 JAタウン事業の売り上げが、年々伸びていますね。今の状況をお聞かせください。

矢野 生活部では、JA全農が運営する産地直送通販サイト「JAタウン」に、「JA全農えひめ直販ショップ」を出店しています。商品の充実やコロナによる巣ごもり需要もあって、売り上げがこの5年間で約5倍に伸び長しており、JAタウンに出店している全国のショップの中で3年連続売上1位となっています。

います。

編集部 売り上げの伸びてきた要因は？

矢野 県内JAの共選場、直売所、直販部署から積極的な出品協力を得て、年々商品が充実してきたこと、中でも「愛媛みかん」をはじめ「愛媛かんきつ」のブランド力を前面に打ち出した販売・PRが奏功したとみています。

特に「紅まどんな」は、お歳暮時期の商品としてダントツの人気を誇り、2018年にJAタウンの果実部門で3年連続売上1位となり、JAタウンアワード「殿堂入り」して以来不動の人気を誇ります。また、温州みかんや中晩柑橘といった果実以外にも、「えひめ100みかん・いよかん混合」など県内各地のジュースも出品され、柑橘王国愛媛ならではの豊富な品揃えも魅力の一つとなっています。他にも、

愛媛には皆さんの知らない魅力的な商品がありますの



JA全農えひめ
直販ショップ

で、ぜひJAタウンを覗いてみてください。

編集部 コロナの巣籠り需要も一段落してき

たようですが、いかがでしょうか？

矢野 今年に入り、伸びはやや鈍化していま



したが、最需期を前に、10月13日から11月
末までJAグループの財源で「国消国産」送
料無料キャンペーンに取り組んだ結果、受注
点数は前年同期比136%、柑橘類に関して
は前年同期比144%で推移していま
す。

12月以降はその反動が懸念されま
す。が、メルマガや前年注文者へお知らせ
メール等のツールを活用し、顧客の囲
い込み・販売拡大につなげたいと考え
ています。

今後の展開としては、いつでも、ど
こでも、愛媛の農畜産物を手軽に注文
していただけるよう、より一層のライ
ンナップ充実を図ってまいります。引
き続き、需要に応えられる数量確保や
発送体制の確立に努め、品質面をア
ピールしながら継続利用と新規顧客の
拡大につなげたいと思います。

編集部 最後に、今後の抱負をお願い
します。

矢野 生活事業は、生産者と消費者を

つなぐ架け橋的役割を担っています。食の安
心・安全に対する意識の高まりと国産農畜産
物の価値に対する再評価がされている中、県
内農畜産物の消費拡大に向けて、県内外の企
業と協力して新たな商品開発に取り組みま
す。来年春には、「はだか麦のまろやか異酢」
をみなさまにお届けできると思っています。楽し
みにしていただけたらと思います。また、県
内JAと一丸となって、組合員・農業者の所
得増大に向け販売力強化に努めてまいります
ので、今後ともご愛顧・ご協力賜りますよう
お願い申し上げます。





ねつとわーく

「愛媛みかん大使による消費宣伝キャンペーンを実施！」

果実課

J A全農えひめ果実課は、今年も愛媛みかんの本格出荷にあわせ、首都圏と関西地区で、「愛媛みかん消費宣伝キャンペーン」を実施しました。

11月2日には、早生みかんの本格販売と愛媛みかん消費宣伝キャンペーンのスタートにあたり、



中村知事を訪問

2022愛媛みかん大使とJ A全農えひめの菅野幸雄運営委員会会長が、愛媛県庁に中村時広知事を表敬訪問しました。愛媛みかん大使は「みかん農家が丹精込めて育てた愛媛みかんを、一人でも多くの方々に手に取っていただけるようしっかりとPRしていきたい」とキャンペーンに向けた決意を伝え、カゴいっぱいのお愛媛みかんを手渡しました。



東京・大田市場でセレモニーを開催

愛媛みかん消費宣伝キャンペーン

今年の愛媛みかん消費宣伝キャンペーンは、11月7日～11月8日に首都圏、11月9日～11月10日に関西地区で実施しました。

県内産早生みかんが出揃った11月7日には、東京・大田市場競売場で初荷セレモニーを行い、早生みかんの出荷スタートと愛媛みかんの品質をアピールしました。

キャンペーン期間中は、マスコミや市場などへの訪問を精力的に行い、また、店頭での販促活動などを通じて愛媛みかんをPRしました。



マスコミ各社を訪問



店頭での販促活動を通じて愛媛みかんをPR

「オレンジロード」イベント

J A全農えひめは、今年も11月3日「みかんの日」から4月14日の愛を深める記念日「オレンジデー」まで、「オレンジロード」として取り組んでいます。「オレンジロード」は、「愛のシンボル」であるオレンジ季節の旬の柑橘を「オレンジデー」までの記念日ごとに贈り合うことで、愛を育み深めていく「道のり」です。今年も、県内J Aと一体となり、温州みかんやこれから旬を迎える愛媛県産柑橘の消費拡大と「オレンジデー」の定着に向けて取り組みます。

「未来につなげよう 信頼と実績の愛媛みかん!!」



愛媛県とJA全農えひめ、愛媛県果樹同志会は、10月12日、松山市のANAクラウンプラザホテル松山で、「未来につなげよう 信頼と実績の愛媛みかん!!」をテーマに、令和4年度愛媛県園芸大会を開きました。

大会は昭和22年から果樹農業の振興をめざし毎年開催。新型コロナウイルス感染対策のため縮小しての実施となりました。果樹代表生産者とJA・県・市場の関係者など約220人が出席しました。大会では園芸功労者表彰、JA全農えひめから「令和4年産愛媛産柑橘の生産販売について」、2022愛媛みかん大使の4人の紹介、農研機構 果樹茶業研究部門 主任研究員（農学博士）岩崎光徳氏による「カンキツの高品質果実生産について」講演が行われました。

なお、令和4年度園芸功労者表彰受賞者は次の皆さん（敬称略・カッコ内は推薦地方局・JA名）。

【愛媛県農産園芸功労知事表彰】

▽森田勲（東予）▽松永盛行（中予）▽八木勝幸（同）▽鳥津忠安（農産園芸課）▽山田茂孝（南予）

【果樹産業振興桐野基金果樹産業功労者表彰】

▽高橋初志（おちいまばり）▽宇津悦男（えひめ中央）▽武智眞一（同）▽雲出豊（同）▽菊池節子（にしうわ）▽清水重伯（同）

【果樹産業振興全農愛媛県本部長賞】

▽船端勲（おちいまばり）▽向井祐一（えひめ中央）▽東貴之（同）▽本田貴久（にしうわ）



知事表彰を受ける森田さん



果樹産業功労者表彰を受ける高橋さん



途上国支援から 島の保健室へ その2

★助産師として歩き始めた

実は途上国支援をしている間に看護大学に編入学し、助産師と保健師の資格を取りました。看護を学び直すため、と言うと聞こえはいいですが真意は異なります。あちこち行っている間に「学歴」を問われる場面があったのです。「大学くらい入ってやるわ」のノリで編入学しましたので、ついでに取れる資格は取っただけでしたが、後の私の人生に大きな影響を与えました。

大学の恩師の紹介で、名古屋市の産婦人科病院に就職しました。ベッド40床を有し不妊治療では先駆的な存在の病院でした。毎日治療に通院する女性達、晴れて妊娠し妊婦外来に通ってくる妊婦さん達、陣痛が始まると休日深夜関係なく次から次と訪れる産婦さん達。お産が大好きでした。お母さんとお腹の赤ちゃん、二人の命を預かっているという張り詰めた空気の中で元氣な赤ちゃんが誕生するたびに、「無事に産まれてきてくれてありがとう」

と、ご両親と一緒に泣いたものでした。助産師は私の天職だと実感しました。

★家族のドラマに脇役で登場

分娩は100例あれば100通りの進み方をします。正常で経過している分娩が異常な経過に変化する、予測できない事も少なくなく、一瞬の油断も許されません。全身の神経を研ぎ澄まし、ケアに当たる助産師の裁量如何。責任は重大です。

助産師は「人の幸せに立ち会う仕事」とよく言われますが、生命が誕生するプロセスは決して簡単なものではありません。

お産を取り上げた数だけドラマがあります。3日ばかりの難産でようやく我が子に出会えた方、長年の不妊治療の末に妊娠・出産されたものの育児ができない方、母乳が思うように出ず鬱になる方。命を守り育んでいくことは並大抵のことではありません。残念ながら妊娠・出産が悲しい体験になってしまった妊婦さんも含め、「妊婦さん、

野澤 美香

MIKA NOZAWA

■プロフィール■

1959年12月6日、岐阜県生まれ、宇和島市九島在住。
岐阜県立船津高等学校、名古屋大学医学部保健学科卒業。
助産師、保健師、看護師、救急救命士の資格を持つ。
途上国への様々な医療支援活動を経て、退職までは愛知県名古屋市にある産婦人科病院の助産管理師長として長年勤務。
令和2年1月より宇和島市に移住し、社会福祉法人正和会 地域共生事業部「島の保健室」所属。地域共生事業、九島島民の健康維持活動に従事している。
趣味は、映画鑑賞、写真撮影。
休日は、海を見にドライブすることが多い。
座右の銘は、決して諦めない Never give up.
思いは叶う Dream comes true.
人生に無駄なことは何一つない
Nothing is wasted in life.



▲帝王切開で誕生直後の新生児をケアする

産婦さん、褥婦さん、その家族の喜びも悲しみも一緒に分かち合う、決して一人にはしない、いつも傍にいますよ、いつも貴方の事を思っていますよ、この姿勢を貫き、全力でケアをして揺るぎない信頼関係を築き上げてきました。

★この出合いを大切に

出産を終えて退院していくお母さん達には「いつでも連絡してね」と私の携帯番号とメールアドレスを必ず渡しました。初めての育児は上手いかわからない事はいくらでも、赤ちゃんに何か起こると、「自分が悪い」と全て抱え込んでしまうお母さん達がとても心配でした。カンボジアでの健康管理員時代と同様、お母さん達からの電話やメールには速やかに応じて不安を取り除く労力は惜しみませんでした。仕事の域を超えてお母さんと赤ちゃん



▲授乳室にて。取り上げた赤ちゃんを抱っこ

ん、その家族を見守ってきた私とお母さん達との繋がりは今も続いています。色々な事を相談してくれたり、子どもの成長を知らせてくれたり、中には私の移住後に4人目を妊娠され、真剣に「野澤さんの居る九島で出産したい」と有り難いお申し出をされる方も。そういう絆がとても嬉しく、私の方が救われていると感じます。

★時代の変化と共に

現在都会では、町のクリニックで出産することが減り、産科は大きな病院に集約される流れとなっています。私が勤務してきた病院も産科を廃止、婦人科だけを残す形となり、私はこれを機に定年を待たず退職する事にしました。

その後は好きな映画を思う存分観たり、ゆっくり旅行したりとと考えていたのに、いざその生活を始めてみると「全然楽しくない自分」がいて…。「これでは駄目になる」、急に離島が頭をよぎりました。「日本には島がたくさんある。医療に困っている島がある。苦！」フットワークの軽さだけは自慢。私の島探しがスタートするのです。最終章では移住に至った経緯と現在の仕事や心情、島の生活や今後の夢についてお話ししたいと思います。

全農 presents 石川佳純47都道府県サックスツアー in 愛媛

石川佳純選手がJA全農えひめを表敬訪問

全農所属・卓球日本代表の石川佳純選手が9月30日、JA全農えひめを訪れました。10月1日に愛媛県武道館で開催された「全農 presents 石川佳純47都道府県サックスツアー in 愛媛」に合わせ行われたものです。本イベントは、石川選手が全国各地で卓球の魅力やスポーツの楽しさを伝えることを目的に企画されたもので、福島、大阪、奈良に続いて4回目の開催です。



JA愛媛ビルに到着した石川選手は、集まった職員から花束を受け取ると笑顔で歓迎に応えました。菅野幸雄運営委員会会長が「全農役員として石川選手の活躍を誇りに思う。イベントでは愛媛の子どもたちに卓球やスポーツの魅力、食の大切さを伝えてほしい」と石川選手を歓迎しました。

また、石川選手の来県と県本部訪問を記念して、山本長雄副会長が「ひめの凜」「紅まどんな」「伊予牛『絹の味』」の目録を贈呈しました。石川選手は「愛媛のおいしい農産物をSNS等で拡散していきたい。また、子どもたちに卓球の楽しさや、夢を持つことすばらしさを伝えたい」と語りました。

卓球教室を開催！

10月1日のイベントには、愛媛県内で卓球に取り組む小学生約55人が参加しました。子どもたちは石川選手から直接指導を受けたほ

か、世界トップレベルのプレーを間近で観戦。また、トークショーでは、石川選手が「食」にまつわる経験談を語ったり、子どもたちと一緒に愛媛の農畜産物にまつわるクイズに挑戦しました。

松山市から参加した武田大雅さん(小6)は「石川選手とのミニ試合が楽しかった。石川選手のようなサーブが打てるようになった」と語りました。



令和4年度「愛媛県くり品評会」

農水大臣賞に笹岡庄蔵さん、林敏彦さん

愛媛県くり研究同志会とJA全農えひめは、9月30日松山市で令和4年度「愛媛県くり品評会」果実部門審査会を開催しました。農水産大臣賞の笹岡庄蔵さん（JAひがしうわ）、立木部門の林敏彦さん（JAひがしうわ）をはじめ受賞者を発表しました。

愛媛県は、令和3年産のくり生産量が1,300トンで全国第3位の産地です。令和4年産については、着穂数は品種及び園地によってバラツキが見られるものの、全体的には平年並です。6月下旬から7月上旬にかけては高温乾燥、7月中旬は一転して天候不順となりましたが、肥大も概ね良好で生産量は前年並を見込んでいます。販売は8月中旬より開始し、9月末までの市場出荷量（JA全農えひめ集計）は、147トン（前年比76%）、1kg当たり単価は1,144円（同130%）。

受賞者は次の皆さん（カッコ内はJA名・敬称略）。

【果実部門】▽農水産大臣賞Ⅱ 笹岡庄蔵（ひがしうわ）▽愛媛県

知事賞Ⅱ和田清光（えひめ中央）

▽全農愛媛県本部長賞Ⅱ長田直一（えひめ中央）▽くり研究同志会

長賞Ⅱ河田忠利（えひめ中央）、

宮脇繁徳（愛媛たいき）、池田寿

雄（愛媛たいき）

【立木部門】▽農水産大臣賞Ⅱ

林敏彦（ひがしうわ）▽愛媛県知

事賞Ⅱ福井義夫（ひがしうわ）▽

全農愛媛県本部長賞Ⅱ上田義光

（愛媛たいき）▽くり研究同志会

長賞Ⅱ井川一郎（えひめ中央）、

井伊英一（ひがしうわ）、西本和

明（愛媛たいき）



愛媛県くり品評会の様子

令和4年度愛媛県農林水産参観デー

JA全農えひめは米の食味分析や資材、協賛展を実施

10月1日～2日の2日間、愛媛県農林水産研究所と同果樹研究センターで「令和4年度愛媛県農林水産参観デー」が3年ぶりに開催されました。

JA全農えひめは、愛媛県農林水産研究所で肥料・農薬やハウス・農機等資材の紹介・展示のほか、来場者が持ち寄った米の食味分析を実施しました。果樹研究セン

ターでは、協賛展として「くり品評会」の出品果実と立木部門入賞ほ場パネルの展示紹介、かんきつ・落葉果樹の展示を行いました。

このほか会場では、愛媛の新品種紹介や高品質・安定生産・省力化、安全・安心をキーワードとした新技術等の紹介が行われ、県内各地から大勢の方が来場し賑わいました。



米の食味分析の様子



ドローン実演の様子

第12回全国和牛能力共進会愛媛県代表壮行会 鹿兒島全共に向け出品者を激励！

第12回全国和牛能力共進会愛媛県出品対策推進委員会は3日、鹿兒島県で開かれる同共進会（鹿兒島全共）を前に、西予市野村町畜産総合振興センターで壮行会を開催しました。県やJ A、関係機関などから約50人が集まり、各区の出品者を激励しました。愛媛県は、2区（若雌の1）から1頭、8区（去勢肥育牛）から2頭出場しました。



2区代表の「ぶくひめ」と角藤さん

霧島市（種子の部）・鹿兒島県南九州市（肉牛の部）で開催されました。愛媛県代表牛の結果は次のとおりです（敬称略・カッコ内はJ A名）。
▽2区（若雌の1）1等賞6席Ⅱ「ぶくひめ」角藤幸男（ひがしうわ）
▽8区（去勢肥育牛）優等賞24席Ⅱ「愛潔日本一」池田一成（えひめ南）、8区（去勢肥育牛）1等賞Ⅱ「豊作」関平畜産有限公司（ひがしうわ）



鹿兒島共進会の様子

令和4年度愛媛県総合畜産共進会「肉用種牛の部」 農林水産大臣賞に角藤幸男さん！

令和4年度愛媛県総合畜産共進会の第84回家畜改良共進会・肉用種牛の部が、11月8日、西予市野村町畜産総合振興センターで開催され、農林水産大臣賞に経産牛部門優等賞首席の角藤幸男さん（J Aひがしうわ）の出品牛「ふくはくほう」が選ばれました。

また、農林水産省生産局長賞（若雌第3区部門優等賞主席）は、角藤幸男さん（J Aひがしうわ）の出品牛「いよひめ」、中国四国農政局長賞（若雌第1区部門優等賞主席）は高月千賀さん（J Aひがしうわ）の「もあ」が受賞しました。共進会は、家畜改良と畜産の振興を図るため、（公社）愛媛県畜産協会が毎年開催。今回は、若雌18頭、経産牛9頭が出品されました。

その他の受賞者は次の皆さん（敬称略・カッコ内はJ A名）。
【若雌第1区】▽1等賞Ⅱ井関秀夫（ひがしうわ）、池田一成（えひめ南）、【若雌第2区】▽優等賞

首席Ⅱ池田一成（えひめ南）▽優等賞次席Ⅱ合同会社ジエイ・ツー（ひがしうわ）▽1等賞Ⅱ関平畜産有限公司（ひがしうわ）、井関克也（ひがしうわ）、渡部潤市（松山市）、【若雌第3区】▽優等賞次席Ⅱ井上明宏（ひがしうわ）▽1等賞Ⅱ福山保（愛媛たいき）、山家順子（愛媛たいき）、平田伝之（ひがしうわ）、【経産牛】優等賞次席Ⅱ平井正人（ひがしうわ）▽優等賞3席Ⅱ池田一成（えひめ南）▽1等賞ⅡJ A愛媛たいき畜産センター（愛媛たいき）、井上明宏（ひがしうわ）、高橋節雄（周桑）、一宮康寿（愛媛たいき）、鈴木信茂（ひがしうわ）

共進会を前に、鹿兒島全共の報告会が行われ、全国和牛登録協会登録課の松宮課長が、鹿兒島全共に出場した牛について、「どの牛も非常に素晴らしかったです。野村の市場に出る牛は良い牛だと言われるような牛づくりに努めていたきたい」と講評しました。

◎愛媛さといも「伊予美人」がたくさん

県オリジナルシチュー・グラタンレシピが誕生！

J A全農えひめは、愛媛県やハウス食品（株）と協力し、県産食材を使ったオリジナルレシピ「伊予美人×媛っこ地鶏 ごろっと愛媛づくしシチュー」「ごろっと伊予美人のあったかシチューONプチプチ麦ライス」「ほくほくほっこり伊予美人グラタン」を発表しました。

このレシピはシチュー・グラタンを通じて地産地消の推進と愛媛県産食材の消費拡大を目的に開発されました。レシピには、県産の伊予美人（さといも）・ブロッコリー・媛っこ地鶏やはだか麦など

を使用し、寒い秋冬でも温まるメニューが完成しました。

10月6日には、J A全農えひめとハウス食品（株）が中村時広県知事を訪問し、県オリジナルシチュー・グラタンの試食会を行いました。

中村知事は「伊予美人の粘り気がよく、贅沢なレシピでとてもおいしい」と語りました。

レシピは、ハウス食品（株）のホームページで公開中。また、県庁食堂でも数量限定で販売されました。



レシピカードを掲げる中村知事（中央）



◎令和4年度早生みかん果実コンクール
愛媛県知事賞に兵頭信耶さん

J A全農えひめと愛媛県果樹同志会は、10月25日、宇和島市の愛媛県農林水産研究所果樹研究センターみかん研究所で、令和4年度早生みかん果実コンクールを開催。コンクールには県内から90点が出品されました。愛媛県知事賞の兵頭信耶さん（J Aにしうわ・出品）「宮川早生」ほか入賞者7人を決定しました。

みかん研究所の二宮泰造所長は、「今年産の早生みかんは糖度が高く、非常においしいみかんに仕上がっているので、一人でも多くの方に食べて頂きたい」と話しました。出品果実は、翌日開催された「みかん研究所参観デー」で展示されました。

表彰は来年3月の愛媛県果樹同志会大会で行われます。

その他の受賞者は次の皆さん（カッコ内はJ A名・敬称略）。

▽全農愛媛県本部長賞Ⅱ金本



愛媛県知事賞を受賞した兵頭さんの「宮川早生」



みかん研究所参観デーで展示

正明（えひめ中央）▽果樹同志会長賞Ⅱ二宮伸彦（同）▽優良賞Ⅱ野本武士（にしうわ）、清家英吾（えひめ南）、福井武士（にしうわ）、入船晋一（同）、石田慎一（えひめ中央）

えひめ健康パーク

はだか麦関連商品の魅力をPR！

JA全農えひめとえひめ愛ふー
ド推進機構は、10月29日に城山公
園にて行われた「えひめ健康パー
ク」において、はだかかんぼう麦茶
やはだか麦を使用したパックご飯
など、はだか麦関連商品を販売し
ました。また、松山市内のパン屋

と協力して開発したはだか麦入り
ベーグルは特に好評で、製造した
240個を完売しました。はだか
麦入りベーグルを試食した来場者
からは、「もちもちしていて、と
てもおいしい。どの世代からも好
まれる美味しさだと思います」と
絶賛の声をいただきました。

愛媛県産はだか麦は、令
和3年産をもって35年連続
生産量日本一となりました。
健康を意識している方、
食物繊維を多くとりたいた方
におすすめです。



令和4年度 紅まどんな選果目合わせ会

品質の向上と品格の統一を！

JA全農えひめは、11月1日、
伊予郡砥部町のJAえひめ中央麻
生支所で「紅まどんな選果目合わ
せ会」を開催しました。ブランド
確立に向けて消費者・販売先の期
待を裏切らない商品提供の呼びか
けを行いました。

目合わせ会は、品質の向上と品
格の統一を目指し、平成24

年から実施。JAの販売・
選果担当者と愛媛県から約
40人が出席しました。目合
わせ会では、JA全農えひ
めの担当者が、出荷要領と
選果基準を具体的に説明
し、基準を順守して品格・
価格に見合った商品を提供
するよう確認・徹底しまし
た。

JA全農えひめでは、目
合わせ会の開催やモデル園
の設定、販売促進活動など
を通じて、ブランド強化に
取り組んでいます。令和4

年産「愛媛果試第28号」（紅まど
んな含む）の生産量は4,411ト
ン（前年比101%）を見込んで
います（10月1日現在・JA関係）。
今年産は日照時間が長く、雨は
少なかったため、品質は良好で、
順調な仕上がり。今年産の販売開
始は11月17日からです。



目合わせ会の様子

📷「ひめの凧」販売開始を報告

「ひめの凧」のさらなる生産・販売拡大目指す

11月7日、道後温泉花ゆづぎにおいて、「ひめの凧」キックオフイベントが行われました。また、あわせて道後にある3つのホテルや旅館にて、11月7日から1月15日まで「ひめの凧」が朝食・夕食にて提供されるキャンペーンが行われます。

J A全農えひめは、「ひめの凧」について今年産の作柄と販売について、県や旅館関係者らに報告を行いました。

「ひめの凧」は愛媛県のオリジナル品種として令和元年度から本格栽培をスタート。大粒でしっかりとした噛みごたえと華やかな甘みが特徴で、好評につき3年連続完売となった人気の品種です。「ひめの凧」の生産は認定栽培者だけに限定しており、栽培マニュアルや県・J Aの指導を遵守したこだわりの栽培を行っています。令和4年度は認定栽培者467名で栽培を行い、栽培面積は昨年度から約1.6倍の505haに拡大しました。

八矢拓真副知事からは、「ひめの凧」は見た目、炊きあがりの透き通るような美しさ、口に含んだ時の甘さ、香り、それぞれの品質が非常に高い。このキャンペーンを通して多くの人に知っていただき、食べてもらいたい」と「ひめの凧」の良さを消費者に向けてPRしました。



J A全農えひめの得能祐治副本部長は、「愛媛のブランド米として未永く県内外のお客様に愛され、食べてもらえるよう、生産振興・消費拡大に努めたい」と話しました。

道後温泉旅館協同組合の新山富左衛門理事長は、「ひめの凧を使った食事を提供し、愛媛の愛あるブランドの推進をしていきたい。観光振興にも大いに役立つので、期待している」と語りました。

「ひめの凧」は11月7日から順次県内の量販店等で販売しています。

📷ひめライス新米キャンペーン抽選会

キャンペーン当選者550人が決まりました！

（株）ひめライスは、11月10日、松前町の本社で、「ひめライスキャンペーン」の抽選会を行い、松田一人社長らが、約15,000通

の応募の中から当選者550人を選びました。メイン賞品、伊予牛「絹の味」や「ふれ愛・媛ポーク」などのA・E賞の5コースと、令和4年度「ひめの凧（ハイクオリティ2kg）」が当たるWチャンス賞が用意されました。

今キャンペーンでは開始時期を県内産早期米の新米出荷時期と連動させることで新米登場を第一にアピールし消費者に広く「新米」の魅力をPRしました。「新米キャンペーン」としての展開は3年ぶりの実施。9月1日から10月31日までの期間中、キャンペーンイメージキャラクター「米ベーズ」を起用したCMの放映や店頭での新米コーナーの設置等、積極的に新米のPRに取り組みました。また、インスタグラムを開設し、新

たなターゲットである若年層への告知展開も実施しました。

応募ハガキには、「毎年、キャンペーンを楽しみにしている。」「値上がりが続く中、キャンペーン実施はありがたい。」などの声が寄せられました。今後県内産米のPRと販売拡大を目指します。



抽選する松田社長（中央）

表紙のイラストを見て。さつまいものスイーツがとてもおいしそうです。今年は、秋の味覚をたくさん楽しみたいです。

(今治市・PN：とと丸さん)

最近よく見る「秋限定品」という言葉。買うしかない!と思ってたくさん買ってしまいます。

特集を読んで。みかんの販売対策を色々考えられて、アピールされているところがみかん大好き人間として大変うれしく思います。

(西条市：木原千恵美さん)

私もみかん大好きです!私の家は農家ではありませんが、ご近所さんがたくさんみかんをくれるのです。手が黄色くなるまで食べてしまいます。

トピックスを読んで。愛媛みかん大使さんに、愛媛の良さを広げる活動を頑張って頂きたいです。多くの方においしいみかんをお届けするのも大事ですが、素敵な笑顔と愛情をいっぱいお届けしてくださいね。

(西条市・PN：福助さん)

これから本格的に始まるみかんシーズン。愛媛みかん大使は忙しくなると思いますが、素敵な笑顔と愛情で愛媛みかんのPRよろしくをお願いします!

トピックスを読んで。直売所で温州みかんの販売を見かけるようになりました。これから愛媛のおいしい柑橘がいっぱいでくるので、愛媛みかん大使の皆さんに全国へPRしてほしいと思います。

(松山市・PN：ヒデさん)

トピックスでも紹介していますが、「愛媛みかん消費拡大キャンペーン」で首都圏・関西圏に愛媛みかん大使らが行ってきました。たくさんの方に愛媛のおいしい柑橘を食べていただきたいです。

ふるさとESSAYを読んで。なんともすごい女性がいらっしゃることと感心しました。そして、そんなすごい女性が宇和島市に移住、九島島民の健康活動に従事されているとの記事。世の中には、こんな日本人がまだいたのですね。うれしいです。

(松山市・PN：dodopapa58さん)

とても興味深いESSAYでした。私も野澤さんになりたい!と思いました。私にできることは何か、考えてみようと思います。

NOW NOW COOKINGを読んで。さっそく「さといものガーリックバター炒め」を料理しました。和風のなさといものが洋風ぽくなって、家族にも喜ばれました。

(今治市・PN：のんのさん)

里芋といえば、芋焼きもしくは煮物というイメージでした。少しアレンジするだけで、変わったメニューが食べられるのはうれしいですね。

あぐり〜ど2020年10・11月号〜2021年2・3月号の「ふるさとエッセー」にご登場いただいた酒井久夫氏の作品展が新春に松山で初開催されます。ぜひお越しください。

酒井久夫・大倉朗人二人展 ユニーク木工×消しゴム版画 =和のじかん

期間：2023年1月7日〜17日
(1月11日定休)

場所：松山市湊町4丁目12-9
メゾンM2ビル3F
ギャラリー リブアートにて

お知らせ

読者名簿更新について

J A全農えひめ情報誌「あぐり〜ど」は、愛媛県内J Aの役員(非常勤理事・監事含む)・職員、生産組織や女性組織のリーダー、県行政や関係機関、県内報道機関を対象に無料配付しています。読者名簿の更新を随時行っています。名簿更新により、新たにお届けの方とお届けできなくなる方がいらっしゃいます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

編集後記

どんどん寒くなってきて、毎朝布団から出るのに苦戦しています。あともう少しだけ、もう少しだけ、と考えているともう出発時間!と焦る日々です。私は電車通勤をしているので、この電車を逃すわけにはいきません。父と母は早くから起きて、犬の散歩とランニングをしています。わたしも健康的な朝を迎えて、余裕ある1日を過ごしたいなと考えているこの頃です。

(彩恵)

今月のクイズ

愛媛県産のはだか麦100%使用した麦茶の名前は?

「○○○○○○○麦茶」

プレゼント

クイズに正解した方の中から抽選で、図書カード1,000円分を10名様にさしあげます。



応募方法

折り込みハガキにクイズの答えと本誌に対するご意見・感想などをお書き添えの上、ご郵送ください。

締切り

2023年1月15日(当日消印有効)

発表

「あぐり〜ど」2-3月号で発表します。

当選者発表

10-11月号の答えは「伊予(愛)〇」でした。たくさんのお便りありがとうございました。厳正な抽選の結果、次の10人の方に図書カード1,000円分をお送りします。

仙波美和子さん(四国中央市)
乾 結羽さん(今治市)
正 金郎さん(松山市)
松本 祐樹さん(松山市)
松本 恵子さん(松山市)
伊達 詩織さん(内子町)
伊達 拓巳さん(内子町)
久保田賢治さん(八幡浜)
山木喜久男さん(伊方町)
松田多美子さん(西予市)

今月の素材
白菜



女性におすすめ！ 低カロリーで
食物繊維とビタミンCがたっぷり

▶ (上) 白身魚の白菜ロールブイヤベース仕立て、(右下) 白菜とベーコンのロールカツ、(左下) 白菜としらすのペペロンチーノ



指導／愛媛調理製菓専門学校 山崎 翔 先生

白菜としらすのペペロンチーノ

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約248kcal

白菜	4枚
しらす	100g
しらす(飾り用)	40g
パスタ	320g
オリーブオイル	適量
④ ニンニク	1片
鷹の爪	適量
塩	適量
糸切り唐辛子	適量

〈作り方〉

- ①白菜はスライスして芯と葉に分け、ニンニクはみじん切りにしておく。
- ②パスタは湯量の1%の塩を加えて茹で、既定時間の1分前にあげる。
- ③フライパンに④を入れ、弱火で加熱する。
- ④香りが立てば、しらすと白菜の芯を加え軽く炒め、茹で汁300～400ccを加える。
- ⑤②を加え、フライパンを振って乳化させ、味を調える。
- ⑥皿に盛り、白菜の葉と飾り用のしらすと糸切り唐辛子を乗せ、完成。

※季節の野菜を加えると、栄養・彩りup !!

白身魚の白菜ロールブイヤベース仕立て

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約76kcal

白菜	4枚
白身魚(切り身)	30g×4枚
エビ	4尾
アサリ	8個
イカ	80g
① 白ワイン	40cc
② ミニトマト	8個
③ ニンニク	1片
タイム	適量
④ 塩	適量
⑤ チキンコンソメ	適量
オリーブオイル	適量

〈作り方〉

- ①白菜を下茹でして白身魚を巻いていく。
- ②鍋に①と②を入れ火にかけ、白ワインのアルコールが飛んだら、食材が浸る程度の水を加え、10～15分煮込む。
- ③③を加えて味を調べ、器に盛りオリーブオイルをかけ完成。

白菜とベーコンのロールカツ

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約105kcal

白菜	4枚
スライスベーコン	4枚
さけるチーズ	2本
エリンギ	2本
薄力粉	適量
卵	適量
パン粉	適量
揚げ油	適量

〈作り方〉

- ①白菜は下茹でして柔らかくしておく。
 - ②白菜を広げ、ベーコン、チーズ、縦半分にしたエリンギを乗せて巻いていく。
 - ③②を薄力粉、溶き卵、パン粉の順につけ、180℃の油できつね色になるまで揚げる。
- ※好みでソース添える。

完熟愛媛みかんの旬搾り

2022年度産愛媛みかんの旬の美味しさを果汁100%のストレートジュースでお届け！

愛媛県産うんしゅうみかんが最も美味しくなる**12月の果実**だけを搾っています。

この時期しか味わえない**完熟の美味しさ**をお楽しみください。

詳しくはこちら▼

数量限定販売！！

12月中旬から順次出荷予定

株式会社 **えひめ飲料**

〒791-8603 松山市安城寺町478番地
TEL: 0120-591-516 FAX: 089-923-1522

<https://www.ehime-inryo.co.jp>
(通販専用) <https://www.pom-j.com>

きれいな肌は、
きれいな服より
恋を实らせると思う。

ビタミンCを摂取しよう!

愛を伝えるものって
バラの花以外にない
と思ってました。

オレンジも“愛のシンボル”

みかんの
季節到来とともに
受験と恋の季節が
やってくる。

ドキドキがとまらない!

家族とこたつと
みかん。
心地よいぬくもり。

みかんが人をつなぐ。

カラダに「愛」を。
ココロに「愛」を。

愛媛のみかん

愛のオレンジロード

オレンジは“愛のシンボル”。「オレンジデー」までの記念日に贈り合って、大切な人との絆を深めませんか。

11/3	12/3	みかんの日 恋するシーズンの到来 <small>〈旬の柑橘〉温州みかん、紅まどな、POM 愛媛みかん旬ストレート100</small>	1/14	いい予感 恋愛成就のいいきざし <small>〈旬の柑橘〉伊予柑、ボンカン</small>	
2/14	3/14	バレンタインデー 愛を届けよう <small>〈旬の柑橘〉伊予柑、ボンカン、はるみ、甘平</small>	ホワイトデー 愛に応えよう <small>〈旬の柑橘〉デコボン、せとか</small>	4/14	オレンジデー 愛を深めよう <small>〈旬の柑橘〉清見タンゴール、カラマンダリン</small>

4.14 Orange day
ふたりでみかんを。
4/14(日) 4/15(月) 4/16(火)

詳しい内容はホームページをチェック!
愛のオレンジロード

JA全農えひめ